

船舶事故調査報告書

令和2年1月22日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	令和元年8月4日 11時30分ごろ
発生場所	静岡県湖西市西浜名大橋南方沖（浜名湖南部） 浜名港背割堤灯台から真方位317°1海里付近 （概位 北緯34°41.5′ 東経137°35.1′）
事故の概要	プレジャーボートLITTLE PRINCESSは、漂流中、また、プレジャーボート山政丸は、北北西進中、両船が衝突した。
事故調査の経過	令和元年8月9日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート LITTLE PRINCESS、1.5トン 242-26361 静岡、個人所有 B プレジャーボート 山政丸、5トン未満（長さ5.02m） 242-24440 静岡、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型・特殊・特定 B 船長B、二級小型・特殊・特定
負傷者	A なし B 軽傷 2人（同乗者）
損傷	A 船外機カバーに破損 B 左舷船首部外板に亀裂を伴う擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 水象：水上 平穏
事故の経過	A 船は、船長Aが1人で乗り組み、魚釣りの目的で、機関を停止し、船首を北方に向けて漂流中、船長Aが、漂流中のA船に向かってくる他船はいないと思い、後部甲板で釣り針を付け替える作業を行っていたところ、船尾方から接近するB船に気づき、大声で大きく手を振り、衝突の危険を感じて海に飛び込んだ後、B船と衝突した。 B 船は、船長Bが1人で乗り組み、親族2人を乗せ、漂流して魚釣りを行った後、発進して北北西進中、船長Bは、左転する目的で、左舷方に注意を向けていたところ、A船と衝突した。
分析	A 船は、漂流中、船長Aが、漂流中のA船に向かってくる他船はいないと思い、釣り針を付け替える作業を行っていたことから、船尾方から接近するB船に気付くのが遅れ、B船と衝突したものと考えられる。 B 船は、北北西進中、船長Bが、左舷方だけに注意を向けて航行したことから、前路で漂流中のA船に気付かず、A船と衝突したものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、A船が漂流中、B船が北北西進中、船長Aが、漂流中のA船に向かってくる他船はいないと思い、釣り針を付け替える作業を行っており、また、船長Bが左舷方だけに注意を向けて航行したため、両船が衝突したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・航行中は、一方向のみに注意を向けることなく、周囲の適切な見張りをを行うこと。</li><li>・漂流中であっても、向かってくる他船はいないと思わず、周囲の適切な見張りをを行うこと。</li></ul>